

歴代会長

初代 矢島 鉦蔵（昭和38年 5月～平成 3年10月） 三代 本多 政良（平成 8年 5月～平成20年 2月）
 二代 松原 澄（平成 3年11月～平成 8年 5月） 四代 石田 修（平成20年 5月～現在）

現役員（執行部）

町 会 長	石田 修（防犯部長兼任）	青少年部長	鹿島 いづみ
副 会 長	服部 幸子（総務部長兼任）	事 務 局	猿田 えり子
	筒井 嘉男（交通部長兼任）	地 区 長	（上記役員兼任者は割愛）
会 計	舟橋 美幸 小俣 ふじ子		貞弘 優子 小野 泰子 山口 絢子
監 査	仙波 宏敬 中川 馨		芹沢 宏 上野 淳子 谷島 政子
防災部長	渡邊 快日		富塚 美佐子 立石 紀代子 大村 清子
厚生部長	本間 キミエ		矢島 寛 本多 歌子 石田 百子
環境部長	田牧 僅子		

町会の由来

野方の地名は、田園の多い地方を里子と呼ぶのに対し、土地の生産力の乏しい地方を野付、野方と呼んだことに由来しています。古くは、江戸時代に「野方領」として用いられ、128ヶ村を指し、その範囲は現在の練馬・杉並両区から埼玉県朝霞市あたりまで含みました。その後、明治22年の町村制実施で7ヶ村が合併して「野方村」が誕生し、大正13年には「野方町」に、昭和7年10月には中野町と合併して「中野区」となり我が町会は野方地域の東に位置するため野方東町会と名づけられたようです。

野方東町会の歩み

太平洋戦争の数年前、時の中野区長からこの地に町会組織を設けるように依頼を受け「野方新橋町会」が誕生しました。昭和16年12月8日戦争が始まり、時代は戦時体制に移り町会は「となり組」制度となり、昭和20年8月15日終戦を迎えました。その後、昭和22年3月政令により町会等の組織活動が禁止され、止む無く町の人々は戦後の復興に努めつつも、「文化会」「愛灯会」「衛生会」と称した組織を作り町会活動を続けました。昭和27年7月、政令により町会等の組織活動禁止が解除されました。

昭和33年3月、商店主を中心とした町内の名士が、「野方二丁目あづま（東）会」を組織して町会が出来るまでの間、町内の取りまとめを行っていました。やがて再創設の機運も高まり昭和38年（1963年）5月18日新生「野方東町会」が誕生しました。創立当時は町会内全域が野方二丁目であったが昭和40年の住居表示法施行に伴い新井二丁目・三丁目・野方一丁目・二丁目の各々の一部からなっている。

主な行事

月例役員会、春・秋の全国交通安全運動、春・秋の火災予防運動、防犯パトロール、町内清掃パトロール、歳末警戒パトロール、防災訓練、防災資器材点検街頭消火器一斉点検、軽可搬消火ポンプ操法大会参加夏まつり（野方東子ども会・野方東町会・野方東氷川神社奉賛会共催）野方地区まつり（野方地区町会連合会）研修旅行、納涼会、新年会、餅つき大会、**特色のある活動**として3団体合同旅行（町会、老人会、子ども会）、平和の森小学校学童の登校時には交通安全誘導員を配置、下校時には防犯パトロール隊をその時間帯に合わせて実施する等、町会独自の活動を行っています。



町会旅行 横浜港にて「氷川丸」船内見学